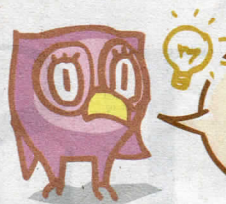


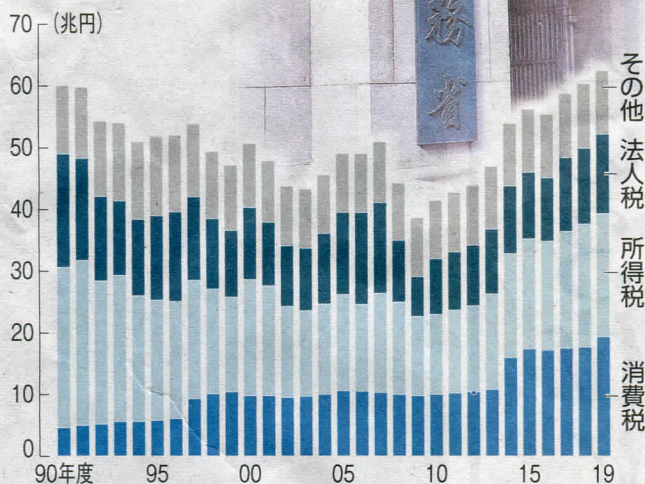
いちから
わかる!



ぜいしゅう 国の税収が バブル期を超えたの?

国の税収構造は 大きく変わってきた

19年度は見込み額



18年度は60・4兆円。28年ぶりに過去最高を記録したよ

アウルさん 国の税収がバブル期を超えたの?

A 2018年度の税収は60・4兆円で、28年ぶりに60兆円を超えて過去最高を記録した。これまでの最高額は、景気がすごくよか

も前年度を上回ったんだ。理由はなんなの?

アウルさん 国の税収がバブル期を超えたの?

ア 政府は、アベノミクスで景気がよかったためと言っている。会社員の給料が伸びて所得税が前年度より1兆円増えたほか、個人消費も伸びたおかげで消費税も0・2兆円増えた。法人税も企業の業績が好調で0・3兆円増えた。

ア 政府は、アベノミクスで景気がよかったためと言っている。会社員の給料が伸びて所得税が前年度より1兆円増えたほか、個人消費も伸びたおかげで消費税も0・2兆円増えた。法人税も企業の業績が好調で0・3兆円増えた。

ア 今バブル期よりも景気がよいのかしら?

A 単純にそうとはいえない。消費税が増えて、所得税・法人税の比率が下がるなど、税収の構造が様変わりしたからだ。とくに消費税は平成を通じて、税率が引き上げられてきて、存在感がアップした。18年度は17・7兆円と、90年度の約4倍まで増えた。所得税と法人税は税率が下げられてきて、バブル期に比べて税収は減っているよ。

ア 消費税頼みなのね。

A 財務省は不景気でも安定的な税収がみこめる消費税の割合を、高めていきたい考えなんだ。麻生太郎財務相も「景気の影響に大きく左右されるような税金から、影響の少ない税に変えていかなければいけない」といつも話している。

このままいけば、近い将来、消費税収が所得税収を上回る可能性もあるよ。

A 10月から消費税率が引き上げられるけど、今年度の税収はどうなるの?

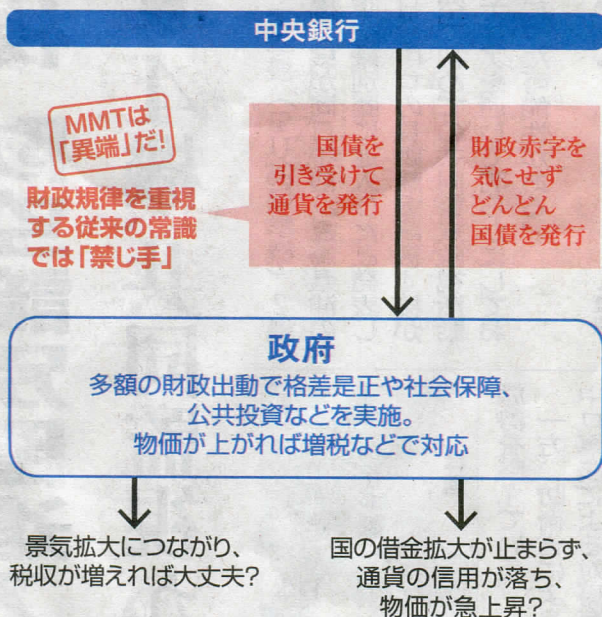
A 財務省は増税分も含めて62・5兆円と、過去最高額を更新すると見込んでいる。ただ、米中貿易摩擦など世界経済の先行きは不透明さが増している。予想通りに税収を確保できるかはわからないね。(岡村夏樹)

いちから
わかる!



国の借金が増えても 大丈夫という理論とは

MMT(現代貨幣理論とは)



ホー先生 国の財政赤字が増えても大丈夫という考え方が広がっているのか?

A MMT (Modern Monetary Theory)のことだね。日本語に訳すと、「現代貨幣理論」だ。最初

に米国で話題となり、最近では欧州や日本でも注目されるようになった。これまでの経済学の主流派とはまったく違う考え方なので、「異端」とされているよ。ホー先生 どのような考え方じゃ?

米で話題のMMT(現代貨幣理論)。リスクが高い考え方

A 自分の国の通貨を持つ国は借金がどれだけ増えても、返済に必要な分だけ新たに通貨を発行できるから破産しない。だから、政府は借金の残高を気にせず、格差の是正や社会保障などにどんなお金を使うべきだという考え方さ。ただし、物の値段が極端に上がるインフレには注意する必要があるとしている。

ホー先生 日本は借金は1千兆円もあるが大丈夫か?

ホー先生!

A でも、現実のインフレは、物の需要と供給や為替レートといったいろいろな原因で起きるから、コントロールは難しいのではないかと疑う人が多いよ。インフレになった時、すぐに

出費を抑えたり、増税したりすることができないと、深刻なインフレになってしまう恐れがあるからだ。ホー先生 最近では消費増税など負担増の話が多いから、夢があるように感じるのかもしれない。ただ、MMTはともてリスクが高い考え方だ、ということをお忘れではないかな。(笠井哲也)

A 政府は借金が増え過ぎれば、国が破産する可能性もあると考えている。だから、出費を減らすとともに税収を増やさなければいけないと説明してきた。MMTが気にするのは借金の残高ではなく「インフレ」が起きるかどうかな。深刻なインフレになったら、出

費を抑えたり増税したりして調整すればいいと説明しているよ。